

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年2月2日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中津濱 健  
 問合せ先責任者(役職名) 経理本部長 (氏名) 長野 慎二 (TEL) 03-3471-5521  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	260,829	10.0	5,061	7.8	6,310	13.4	4,259	12.6
29年3月期第3四半期	237,036	1.5	4,697	48.1	5,565	20.9	3,782	28.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,783百万円(20.4%) 29年3月期第3四半期 3,973百万円(30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	451.81	413.56
29年3月期第3四半期	409.16	373.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	134,147	47,431	35.4
29年3月期	117,386	43,327	36.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 47,431百万円 29年3月期 43,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	100.00	100.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	3.5	5,800	4.3	6,800	3.0	4,700	2.6	497.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	9,528,395株	29年3月期	9,482,921株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	54,818株	29年3月期	77,902株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	9,426,936株	29年3月期3Q	9,243,681株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費の力強さは欠くものの、緩やかな回復基調が継続しています。海外経済は、アメリカで税制改革への期待などにより着実に回復が続いているものの、新興国経済の先行きや政策に関する不確実性から先行き不透明な状態が続きました。

食肉業界では、国産牛肉の出荷頭数が前年より増加し、市況は前年を下回りました。国産豚肉は出荷頭数が前年より減少し、市況は高値で推移しました。国産鶏肉は出荷量が前年より増加し、市況は後半にかけて前年を下回って推移しました。輸入牛肉、輸入豚肉、輸入鶏肉は、輸入量・市況ともに前年を上回り推移しました。

このような状況の中、当社グループは各部門間の連携を密にし、食肉および加工食品の新規・深耕拡売を推進した結果、売上高および営業利益ともに増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,608億29百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は50億61百万円（前年同四半期比7.8%増）、経常利益は63億10百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては42億59百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

事業部門別の営業概況は以下のとおりです。

#### <食肉関連事業>

食肉関連事業は、前年に比べ国産牛肉の相場が安値で推移しているものの、国産豚肉の出荷頭数が減少し需要が供給を上回る展開で、国産牛肉・国産豚肉の相場高環境が続いており、比較的安価な国産鶏肉や輸入食肉への需要シフトが見られます。このような環境の中、当社グループは、安定した供給体制の下で注力商品を中心とした販売強化を行った結果、売上高は2,587億8百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

##### (食肉)

国産牛肉は、市況は前年を下回りましたが、効果的に拡売を行った結果、売上高は前年を上回りました。

国産豚肉は、供給量の減少や季節的要因などから相場が高値で推移する中、安定的な集荷・生産体制の下で拡売を進めた結果、売上高は前年を上回りました。

国産鶏肉は、消費者の健康志向の高まりや牛肉・豚肉からの需要シフト等により引き合いが強く、売上高は前年を上回りました。

輸入牛肉は、輸入量が前年を上回り、国産牛肉の相場高の影響も受けた結果、販売量を大きく伸ばし売上高は前年を上回りました。

輸入豚肉は、輸入量が前年を上回り、国産豚肉の相場高の影響も受けた結果、販売量の拡大により売上高は前年を上回りました。

輸入鶏肉は、価格優位性から加工原料需要が高まり、相場が前年を上回って推移した結果、売上高は前年を上回りました。

これらの結果、食肉部門の売上高は2,093億31百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

##### (加工食品)

加工食品は、ハンバーグ、ローストビーフ・ポークを中心に販売が好調に推移した結果、売上高は前年を上回り373億30百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

##### (ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、業務提携先との連携を高め、効率生産と販売量拡大を進めた結果、売上高は前年を上回り107億64百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

##### (その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は12億82百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は21億20百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、144億67百万円増加し、913億43百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、22億84百万円増加し、427億68百万円となりました。これは、主として建設仮勘定や投資有価証券が増加したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、167億60百万円増加し、1,341億47百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、81億51百万円増加し、563億33百万円となりました。これは、主として1年内償還予定の社債が減少したものの、短期借入金、買掛金、未払金が増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、45億5百万円増加し、303億82百万円となりました。これは、主として長期借入金や社債が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、126億56百万円増加し、867億15百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、41億3百万円増加し、474億31百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日付け公表の「平成29年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,112	11,647
受取手形及び売掛金	29,483	46,387
商品及び製品	22,540	23,785
仕掛品	288	322
原材料及び貯蔵品	1,598	1,144
その他	6,868	8,079
貸倒引当金	△17	△24
流動資産合計	76,875	91,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,408	11,358
土地	10,315	10,335
その他（純額）	5,563	6,407
有形固定資産合計	27,287	28,101
無形固定資産		
のれん	621	517
その他	360	499
無形固定資産合計	981	1,016
投資その他の資産	12,216	13,650
固定資産合計	40,484	42,768
繰延資産	26	35
資産合計	117,386	134,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,095	19,185
短期借入金	11,502	16,470
1年内償還予定の社債	3,400	500
1年内返済予定の長期借入金	7,518	7,732
未払法人税等	989	883
賞与引当金	1,423	819
その他	8,252	10,740
流動負債合計	48,181	56,333
固定負債		
社債	1,000	3,100
転換社債型新株予約権付社債	3,998	3,784
長期借入金	16,228	18,581
退職給付に係る負債	1,829	1,868
その他	2,820	3,048
固定負債合計	25,877	30,382
負債合計	74,059	86,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,027	11,130
資本剰余金	11,883	11,985
利益剰余金	19,349	22,659
自己株式	△217	△153
株主資本合計	42,043	45,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496	1,915
繰延ヘッジ損益	24	45
為替換算調整勘定	△195	△150
退職給付に係る調整累計額	△41	△1
その他の包括利益累計額合計	1,284	1,809
純資産合計	43,327	47,431
負債純資産合計	117,386	134,147

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	237,036	260,829
売上原価	215,149	237,174
売上総利益	21,886	23,655
販売費及び一般管理費	17,189	18,594
営業利益	4,697	5,061
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	84	94
不動産賃貸料	335	323
受取保険金及び配当金	220	226
持分法による投資利益	558	915
その他	190	223
営業外収益合計	1,401	1,788
営業外費用		
支払利息	287	290
不動産賃貸費用	124	111
その他	121	136
営業外費用合計	533	538
経常利益	5,565	6,310
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	26	—
特別利益合計	26	1
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	18	84
減損損失	69	10
その他	1	—
特別損失合計	91	95
税金等調整前四半期純利益	5,500	6,217
法人税、住民税及び事業税	1,452	1,547
法人税等調整額	262	410
法人税等合計	1,714	1,957
四半期純利益	3,785	4,259
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,782	4,259



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,785	4,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	410
繰延ヘッジ損益	201	20
為替換算調整勘定	△130	4
退職給付に係る調整額	7	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	86
その他の包括利益合計	187	524
四半期包括利益	3,973	4,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,969	4,783
非支配株主に係る四半期包括利益	3	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。